

特別セッション II 要旨

本特別セッションは、「金融危機後の北東アジアにおける金融協力」をテーマに華東師範大学黄澤民先生、韓国金融研究所金東喚先生、一橋大学清水啓典先生をゲストスピーカーとしてお迎えし、一橋大学小川英治先生、神戸大学金京拓司先生にコメンテーターとしてご参加いただくものです。

セッションは二部構成になり、一部はゲストスピーカーの先生方に記念講演をお願いしております。先生方の講演題目は黄先生「人民元の国際化について」、金先生「グローバル金融危機と経済パラダイム：韓国の経験を中心に」、清水先生「金融危機後の北東アジアにおける金融協力」であります。

休憩をはさみまして二部では小川先生、金京先生にもご参加いただき、北東アジアの金融協力をテーマにパネル・ディスカッションを行います。

アジア通貨危機の経験から、東アジアにおいては様々な面で地域協力を大きな進展が見られました。金融面においては、ASEAN+3（日中韓）の枠組みの下で、チェンマイ・イニシアティブ、アジア債券基金、アジア通貨単位構想等に代表される地域金融協力の枠組みが進展してきました。

しかし、サブプライム危機、ユーロ危機の経験を踏まえて、東アジアにおける地域金融協力は一つの岐路に立たされているとの見方があります。また一方それらの経験を踏まえて、東アジアにおける地域金融協力はますますその重要性を増しつつあるという見方もあります。

東アジアにおける地域金融協力において、北東アジア、日本、中国、韓国の協力関係が決定的な重要性を持つことは明らかであります。学会の碩学、新進気鋭の研究者をお迎えすることができたこのセッションでは、北東アジアの金融協力について活発なディスカッションを展開してゆきたいと思っております。